

神経機能学分野

A 欧文

A-a

1. Araki M, Nishitani S, Ushimaru K, Masuzaki H, Oishi K, Shinohara K: Fetal response to induced maternal emotions, *J Physiol Sci*, 60(3):213-220, 2010 (IF: 1.125)
2. Doi H, Tagawa M, Shinohara K: Gaze Direction Modulates the Disengagement of Attention From Facial Expression in 10-Month-Olds. *Emotion* 10 (2), 278-282, 2010 (IF: 3.726)
3. Doi H, Amamoto T, Okishige Y, Kato M, Shinohara K: The own-sex effect in facial expression recognition. *NeuroReport* 21 (8), 564-568. (IF: 1.805)
4. Kida T, Tanaka E, Takeshima Y, Kakigi R: Neural representation of feature synergy. *Neuroimage* 55(2), 669-680, 2011 (IF: 5.739)
5. Kida T, Inui K, Tanaka E, Kakigi R: Dynamics of within-, inter-, and cross-modal attentional modulation. *Journal of Neurophysiology* 105 (2), 674-686, 2011 (IF: 3.483)
6. Kang S-K, Wasaka T, Shamim EA, Auh S, Ueki Y, Lopez GJ, Kida T, Jin S-H, Dang N, Hallett M: Characteristics of the sequence effect in Parkinson's disease. *Movement Disorders* 25(13), 2148-2155, 2010 (IF: 4.014)
7. Inui K, Urakawa T, Yamashiro K, Otsuru N, Takeshima Y, Makoto N, Motomura M, Kida T, Kakigi R: Echoic memory of a single pure tone indexed by change-related brain activity. *BMC Neuroscience* 11, 135, 2010 (IF: 2.744)
8. Araki M, Nishitani S, Miyamura T, Masuzaki H, Oishi K, Shinohara K: Fetal response to mozart's music, *Acta medica Nagasakiensia* 55: 7-13, 2010 (査読有り)

A-b

1. K Shinohara, S Nishitani: Neural correlates of maternal love, paternal love and children's love for their parents, *Clin Neurophysiol*, 121, Suppl.1, S74, 2010.
2. Nishitani S, Takamura T, Yamashita S, Shinohara K: Sex difference in the neural basis of parental bonding, *Neuroscience Res*, 68, Suppl. 1: e78, 2010
3. Kida T, Kakigi R: Movement-induced and attentional modulation in the somatosensory system. *Clinical Neurophysiology*, Vol. 121, Supple. 1, Symposium "Sensorimotor integration", S30, 2010
4. Benninger D, Lin P, Kida T, Wasaka T, Bai O, Hallett M: Correlation of high-frequency oscillations in focal hand dystonia with therapeutic response after botulinum toxin treatment. *Clinical Neurophysiology*, Vol. 121, Suppl. 1, S188, 2010
5. Wasaka T, Kida T, Kakigi R: Characteristics of sensori-motor interaction in the primary and secondary somatosensory cortices in humans: an MEG study. *Clinical Neurophysiology*, Vol. 121, Suppl. 1, S298, 2010
6. Kida T, Kakigi R: Selectivity of tactile attention: an MEG study. *Neuroscience Research*, Vol. 68, Suppl.1, 2010, Page e19
7. Akatsuka S, Fujisawa TX, Aiba E, Nagata N: Measurement of Brain Function When Listening to Chords: fMRI Study, *Proc.16th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping*, 2010
8. Mikako Kato, Hirokazu Doi, Kazuyuki Shinohara: The developmental course of sleep quality and its influence on attentional control. *The Journal of Physiological Sciences*, Vol. 60 Suppl. 1, 2010. *Proceedings of the 87th Annual Meeting*. S182, 2010

A-c

1. Nishitani S, Takamura T, Yamashita S, Shinohara K: Sex difference of the neural basis of the maternal and paternal attachment in humans, *The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan*, 187, 2010
2. Tanaka M, Nishitani S, Takamura T, Sugawara M, Shinohara K: The neural basis of the maternal attachment in human grandmothers, *The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan* 157, 2010
3. Takamura T, Nishitani S, Tanaka M, Yoshimoto T, Baba Y, Tsunawake N, Shinohara K: The pubertal development of the neural basis of attachment in humans, *The 87th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan* 187, 2010
4. Kida T, Kakigi R: Movement-induced and attentional modulation in the somatosensory system. *29th International Congress of Clinical Neurophysiology (ICCN2010), Symposium "Sensorimotor integration"*, S17-3 (Kobe) 2010
5. Fujisawa TX, Nishitani S, Inoue T, Takamura T, Ikematsu K, Shinohara K: The ability to recognize affective voices is modulated by the oxytocin receptor gene (OXTR) variants in normal human subjects. *Neuro*, 2010

B 邦文

B-a

1. 藤澤隆史, 細川豊治, 長田典子, 片寄晴弘: 集団圧力の状況下における脳機能イメージング - Asch の実験パラダイムを用いた fNIRS 研究 - . *感情心理学研究*. 18(1). 73-82, 2010

B-b

1. 西谷正太, 高村恒人, 藤澤隆史, 篠原一之, 近赤外分光法(NIRS)による養育の絆に関わる神経基盤の性差, *日本生理学雑誌*, 73(1), 22, 2010
2. 西谷正太, 宮村庸剛, 田川正人, 角 至一郎, 高瀬隆太, 土居裕和, 森内浩幸, 篠原一之, 母乳の匂いによるヒーリングカット採血の疼痛緩和, *日本未熟児新生児学会雑誌*, 第 22 巻, 第 3 号, 143, 2010
3. 西谷正太, 高村恒人, 山下翔, 藤澤隆史, 篠原一之, 近赤外分光法によるヒト養育の絆に関わる神経基盤の性差の

- 解明, 日本生物学的精神医学会誌, 21(S1), 110, 2010
4. 土居裕和, 尾曲久美, 高島寿美恵, 赤松 茂, 篠原一之「月経周期に伴う顔画像に対する事象関連電位応答変化」顔学会論文誌 第 10 巻 (2010, Vol.10)
 5. 木田哲夫, 柿木隆介. 触覚情報の能動的処理機構. 理学療法学 37, 147, 2010
 6. 藤澤隆史, 土居裕和, 岩永竜一郎, 松崎淳子, 松坂哲應, 篠原一之: 自閉症スペクトラム児における情動の読み取り能力の検討. 日本生物学的精神医学会誌: 21(S1), 103, 2010
 7. 藤澤隆史, 土居裕和, 岩永竜一郎, 松崎淳子, 松坂哲應, 篠原一之: 自閉症スペクトラム児における表情認知. 日本顔学会誌: 2010
 8. 池田貴裕, 藤澤隆史, 西谷正太, 高村恒人, 高島寿美恵, 篠原一之: 男性の音声に対する女性の嗜好性と HLA 類似度の関連性, 日本生理学雑誌: 73(1), p21, 2010
 9. 藤澤隆史, 池田貴裕, 高島寿美恵, 西谷正太, 篠原一之: 男性の音声に対する女性の嗜好性の変化と月経周期の関連性, 日本生理学雑誌: 73(1), p21, 2010
 10. 藤澤隆史, 時津裕子, 土居裕和, 篠原一之: 感情認知の感受性と性格傾向の関連性 - 音声刺激を用いた検討 -. 日本生理学雑誌 72(2), 47, 2010
 11. 時津裕子, 藤澤隆史, 土居裕和, 篠原一之: 感情認知の感受性と性格傾向の関連性 - 表情刺激を用いた検討 -. 日本生理学雑誌 72(2), 47-48, 2010
 12. 藤澤隆史, 西谷正太, 井上貴雄, 高村恒人, 池松和哉, 篠原一之: 健常児における情動音声の感受性とオキシトシン受容体の遺伝子多型との関連性. 第 87 回日本生理学会大会, 304, 2010
 13. 高村恒人, 西谷正太, 藤澤隆史, 松崎淳子, 岩永竜一郎, 松坂哲慶, 綱分憲明, 篠原一之: 自閉症スペクトラム児における愛着に関わる神経基盤の解明, 日本生物学的精神医学会誌, 21(S1), 104, 2010
 14. 高村恒人, 綱分憲明, 岡崎寛実, 石井 聡, 西谷正太, 土居裕和, 篠原一之: 長期間の陸上運動が身体発達に及ぼす影響 学童の身体組成, 骨強度ならびに体力を指標として, 日本生理人類学会誌, 15(S2), 96 ~ 97, 2010

B-c

1. 篠原一之, 母・父と子の間に築かれる絆の神経学的基盤, 第 51 回日本児童青年精神医学会総会抄録集, 2010
2. 西谷正太, 高村恒人, 藤澤隆史, 篠原一之, ヒト養育の絆に関わる神経基盤の性差, 第 51 回日本児童青年精神医学会総会抄録集, 277, 2010
3. 西谷正太, 荒木 萌, 井上貴雄, 藤澤隆史, 高村恒人, 池松和哉, 篠原一之: 泣き声刺激への反応性と OXTR 遺伝子多型性との関連性の解明, 第 5 回環境生理学プレコングレス, 2010
4. 西谷正太, 高村恒人, 山下 翔, 篠原一之: ヒト養育の絆に関わる神経基盤の性差, 第 13 回日本光脳機能イメージング研究会, 2010
5. 高村恒人, 西谷正太, 吉元崇文, 綱分憲明, 篠原一之: ヒト愛着に関わる神経基盤とその思春期発達, 第 13 回日本光脳機能イメージング研究会, 2010
6. 土居裕和, 加藤美香子, 篠原一之「暗黙的自尊心と自己容貌評価時の前頭前野活動の関連性」第 51 回日本児童青年精神医学会総会予稿集, p278, 2010
7. 土居裕和, 篠原一之「人物の既知性が視線方向知覚に与える影響」第 61 回西日本生理学会プログラム, p.11, 2010
8. 土居裕和, 加藤美香子, 篠原一之: 表情識別課題遂行中の前頭前野活動に及ぼす視線方向の影響第 87 回日本生理学会, p. 187, 2010
9. 土居裕和, 加藤美香子, 篠原一之: 睡眠の質が注意機能に与える影響の発達の变化 第 87 回日本生理学会, p. 196, 2010
10. 土居裕和, 平瀬絵美子, 有村亜希子, 北村和貴子, 篠原一之: 自分の子と他者の子の泣き顔刺激に対する事象関連電位応答 第 5 回環境生理学プレコングレス プログラム予稿集, p.7, 2010
11. 土居裕和, 有村亜希子, 平瀬絵美子, 北村和貴子, 篠原一之: 閾値下呈示された顔画像からの人物同定を担う神経基盤 Neuro2010 Program, p317, 2010
12. 木田哲夫, 柿木隆介: 触覚情報の能動的処理機構. 理学療法学基礎系セミナー「体性感覚情報処理に関する神経基盤」, 第 45 回日本理学療法学術大会 (岐阜), 2010
13. 木田哲夫, 西谷正太, 篠原一之: 触覚誘発性快情動の神経基盤. 第 61 回西日本生理学会 (長崎), 2010
14. 木田哲夫, 柿木隆介: 触覚性注意の指選択性. 第 33 回日本神経科学大会 (神戸), 2010
15. 木田哲夫, 柿木隆介: 感覚種を超えた空間的注意効果の神経機構. 第 5 回環境生理学プレコングレス (盛岡) 2010
16. 木田哲夫: 触覚情報の能動的処理機構. 理学療法学. 37. Suppl. 1. p146
17. 木田哲夫, 柿木隆介: 触覚性注意の指選択性. 第 33 回日本神経科学大会・第 53 回日本神経化学学会大会・第 20 回日本神経回路学会大会 合同大会 (Neuro2010) p249, 2010
18. 藤澤隆史, 西谷正太, 高村恒人, 篠原一之: 思春期健常児における情動の読み取り能力の個人差とテストステロン水準. 第 51 回日本児童青年精神医学会総会抄録集: 265, 2010
19. 猪目博也, 饗庭絵里子, 下斗米貴之, 藤澤隆史, 長田典子: LED 警光灯の視認性向上 - 目立ちやすさの感性指標に基づく点滅パターン評価法 -. 映像メディア学会技術報告, 34 (10), 89-92, 2010
20. 沼田晃佑, 饗庭絵里子, 藤澤隆史, 長田典子: デジタルカメラのための画質評価モデルの構築. 映像メディア学会技術報告, 34 (10), 137-140, 2010
21. 谷光彬, 饗庭絵里子, 下斗米貴之, 長田典子, 藤澤隆史: 調和度に基づく和音性評価モデルと楽曲ムードの色彩表

- 現インタフェース. 日本音響学会音楽音響研究会資料, 28(8), 19-24, 2010
22. 西谷正太, 荒木萌, 井上貴雄, 藤澤隆史, 高村恒人, 池松和哉, 篠原一之: 泣き声刺激への反応性とOXTR遺伝子多型性との関連性の解明. 第5回環境生理学プレコンgres抄録集, 8, 2010
 23. 藤澤隆史, 池田貴裕, 高島寿美恵, 篠原一之: 男性の音声に対する嗜好性に及ぼす月経周期の影響. 第5回環境生理学プレコンgres抄録集, 9, 2010
 24. 加藤美香子, 土居裕和, 篠原一之: 睡眠の質が注意機能に与える影響の発達的变化の検討. 第32回日本生物学的精神医学会誌 138, 2010
 25. 加藤美香子, 土居裕和, 篠原一之: 睡眠の質が注意機能に与える影響の発達的变化の検討. 第61回西日本生理学大会プログラム 17, 2010
 26. 加藤美香子, 土居裕和, 篠原一之: 睡眠の質が注意機能に与える影響の検討. 第51回日本児童青年精神医学会総会プログラム 381, 2010
 27. 高村恒人, 西谷正太, 網分憲明, 篠原一之: 近赤外分光法(NIRS)による愛着に関わる脳機能発達の解明, 第51回日本児童青年精神医学会総会抄録集, 276, 2010

B-d

1. 藤澤隆史, 細川豊治, 長田典子, 片寄晴弘, 守一雄, 篠原一之: 映像提示トリックを用いた同調場面の脳機能イメージング: fNIRSによる分析, 第14回実験社会科学カンファレンス, 2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
8	0	8	2	0	14

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
篠原一之・教授	会長	第61回西日本生理学会
篠原一之・教授	評議員	日本生理学会
篠原一之・教授	評議員	西日本生理学会
篠原一之・教授	評議員	日本内分泌学会九州地方会
篠原一之・教授	評議員	輔仁会
篠原一之・教授	代表取締役	(株)マザー&チャイルド
篠原一之・教授	委員	高大連携推進委員
篠原一之・教授	委員	科学研究費委員会
篠原一之・教授	編集幹事	長崎医学会雑誌

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
篠原一之・教授	株式会社 Human Science Plow	代表	社会性に関する心理学指標と生物学的指標
篠原一之・教授	ユニ・チャーム株式会社	代表	乳幼児の好む触感の研究
篠原一之・教授	文部科学省	代表	基盤研究(C) ヒト父性行動・母性行動の神経・内分泌学的基盤の解明
篠原一之・教授	日本学術振興会	代表	頭を使うってなんだろう? 光をつかって脳のはたらきを測ってみよう

西谷正太・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) 思春期児童における母親依存 / 分離の心の発達機構の脳科学的解明 - 不登校児との比較
土居裕和・助教	文部科学省	代表	科研若手(B) アスペルガー症候群における《無意識下知覚》能力の神経科学的解明
土居裕和・助教	(財)コスメトロジー研究振興財団	代表	化粧品がもつ自尊心昂揚効果に関する発達脳科学的研究
土居裕和・助教	(財)明治安田厚生事業団	代表	運動は小学生の認知能力・脳活動向上に役立つか? - 脳計測と日中運動量測定による検討
土居裕和・助教	(財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団	代表	有酸素運動がもつ小学生の「認知能力向上効果」の脳科学的検証
木田哲夫・助教	長崎医学同窓会	代表	触覚によりもたらされる快情動の神経基盤の解明
藤澤隆史・助教	文部科学省	分担	特定領域研究 映像トリックを用いた同調実験場面における被験者の脳機能のfNIRSによる分析
藤澤隆史・助教	文部科学省	分担	基盤研究(B) 共感覚のクロスモーダル・メカニズム解明 - 色調現象の脳機能計測とメディア表現 -
西谷正太・助教	文部科学省	分担	基盤研究(C) 母性愛を育む看護介入法を探索する - 脳科学的基盤の解明から
井上貴雄・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) 泣き声によって惹起される母乳分泌の神経学的基盤
井上貴雄・助教	(財)日産科学振興財団	分担	母性の音響的評価法の開発

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
篠原一之・教授 西谷正太・助教	性欲促進用組成物	2003年 5月15日		2003-137328
篠原一之・教授 西谷正太・助教	内臓痛感利用組成物	2003年 9月16日		2003-322409
篠原一之・教授	卵巣ステロイドホルモンの動態を基準として分けられた特定の群に対して効能を示す物質のスクリーニング方法	2004年 2月26日		2004-051421
篠原一之・教授 西谷正太・助教	プロジェステロンの変化に伴う不快症状の改善用組成物	2004年 4月20日		PCT/JP2004/005608
篠原一之・教授 西谷正太・助教	新生児由来成分を用いたストレス改善用組成物	2005年 10月14日		2005-301011
篠原一之・教授 西谷正太・助教	ストレス軽減剤	2005年 10月14日		2005-301012
篠原一之・教授	感情評価方法および感情表示方法、並びに、それらのための、プログラム、記入媒体およびシ	2006年		PCT/JP2006/320894

	ステム	5月15日		
篠原一之・教授	妊婦を介して胎児に影響する映像及び音響の評価方法とその装置	2006年 10月4日		2006-273440
篠原一之・教授	乳児の情動を判定する方法	2007年 3月6日		PCT/JP2007/054329
篠原一之・教授	診断及び保育支援システム	2007年 3月17日		2006-075736
篠原一之・教授	作曲支援方法	2007年 10月27日		2006-292529

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
篠原一之・教授	におい、母との絆 探嗅 感情直結 色あせない記憶	朝日新聞	2010年 1月1日	「におい、母との絆 探嗅 感情直結 色あせない記憶」について掲載
篠原一之・教授	「脳科学と学習・教育」	明石書店	2010年 3月31日	「脳科学と学習・教育」 第8章_151P～168Pを担当。
篠原一之・教授	産後うつや虐待を減らす 新研究	長崎国際テレビ 「news every」	2010年 8月13日	「産後うつや虐待を減らす新研究について」放送
篠原一之・教授	ふれあいスキンシップに ついて	テレビ長崎 「金曜 夕 Gopan」	2010年 8月13日	「ふれあいスキンシップについて」放送
篠原一之・教授	長崎大学と五島市の連携 協定に基づくライフサイ クルコホートプロジェクト の発足について	長崎国際テレビ 「news every」	2010年 8月25日	長崎大学と五島市の連携協定に基づく ライフサイクルコホートプロジェクト の発足に関する記者会見
篠原一之・教授	環境と人の関係調査 脳、遺伝子レベルで解明 へ	読売新聞	2010年 8月28日	五島市の住民を対象に、医学や経済、教育などの分野で長期的に調べ、どのような因子が人の社会的行動に影響を与えるかの研究事業について掲載。
篠原一之・教授	「ホルモン」について、ホル モンに係る男と女の違 いについて	日本テレビ 「世界一受け たい授業」	2010年 11月27日	「ホルモンについて、ホルモンに係る男と女の違いについて」放送

非常勤講師等

氏名・職	委員会等名	関係機関名
西谷正太・助教	非常勤講師（人体のしくみとはたらき）	長崎市医師会看護専門学校
土居裕和・助教	非常勤講師（人体生理学）	長崎医療技術専門学校